

2022 Winter

NO.477

AAR News

特集：人道危機に 立ち向かう

アフガニスタン緊急支援にご協力ください

AARのアフガニスタン緊急支援で食料や毛布を受け取りに来た国内避難民の親子

AAR ニュース 2022 新年号

p2-5 特集：人道危機に立ち向かう

p6 活動報告：令和3年8月豪雨、エチオピア難民支援

p7 ケニア就学支援キャンペーン報告 駐在員だより：タジキスタン

p8-9 特別インタビュー：谷川真理さん（マラソンランナー／AAR 理事）

p10-12 インフォメーション



AAR Japan

認定NPO法人 難民を助ける会



特集：人道危機に立ち向かう 支援を途切れさせないために

アフガニスタン国内避難民への緊急支援物資配付（同国東部ラグマン県）

世界各地では今、深刻な人道危機が起きています。2021年8月に前政権が崩壊したアフガニスタン、2月に非常事態が発生したミャンマー、そして内戦勃発から10年余りが過ぎたシリア――。

ただでさえ困難な状況に新型コロナウイルス感染が追い打ちをかける中、支援活動にも多くの制約があるのが実情です。

AARは難民・国内避難民、障がい者や貧困世帯への支援を途切れさせないために、現地職員や協力団体と工夫を重ねながら、皆さまから寄せられた温かい気持ちを確かな支援のカタチにして人々に届けています。人道支援の最前線から報告します。

アフガニスタン Afghanistan

厳冬期迎える避難民に物資配付

爆弾テロが相次ぐなど治安が安定しないアフガニスタンは、緊急支援が求められる半面、国連機関やNGOが思うように活動できない難しい状況にあります。しかし、戦闘を逃れて新たに66万人の国内避難民が発生し、厳冬期を迎えて過酷なテント生活を余儀なくされる中、AARは2021年12月、同国東部ラグマン県で180世帯の避難民に毛布と食料（豆、小麦粉、食用油、砂糖、塩、緑茶）を緊

急配付しました。

多くの子どもや高齢者、障がい者を含む避難民が追い詰められており、支援物資を受け取った家族は「戦闘に巻き込まれて家を破壊され、命からがら安全な場所に逃れて来ました」「十分な食料も医療サービスもなく、先行きも見えないまま不安の中で過しています。日本から届いた支援は何より大きな支えです」などと話してくれました。

また、AARは1999年以降、地雷対策を専門とする英国のNGO「ヘイロー・トラスト」への資金提供を通じて地雷除去事業を行っているほか、子どもを含む住民が地雷・不発弾の被害に遭わないための「回避教育」に取り組んでいます。



毛布を受け取る避難民の親子

また、AARは1999年以降、地雷対策を専門とする英国のNGO「ヘイロー・トラスト」への資金提供を通じて地雷除去事業を行っているほか、子どもを含む住民が地雷・不発弾の被害に遭わないための「回避教育」に取り組んでいます。

は、これまでにアフガニスタンで約

「誰も助けてくれない中、AARが支援を届けてくれました」



シャキールさん（47歳）

私はコメや野菜などを栽培し、妻と2人の娘とつましいながらも穏やかに暮らしていました。この国はずっと戦乱が続いており、私は娘たちの将来を思いながら、日々必死に働いていましたが、ある時期から左脚がまひし始め、今では半身不随になってしまいました。土地を他人に取られて収入を失い、妻が細々した仕事を探そうとしてもうまくいかず、最近は周囲の人からの施しで何とか生活するありさまでした。

数力月前に政府軍とタリバンの戦闘が起きて、私たちは近所の人に助けられて何とか安全な場所に逃れました。政府機関に援助を求めたものの、避難民が多過ぎてテントも食料ももらえませんでした。誰も私たちを助けてくれない中、AARのスタッフが来て話を聞いてくれて、こうして食料や毛布を届けてくれました。こんな援助をもらったのは生まれて初めてのことです。日本からの温かい支援に心から感謝します。私たちだけでなく、周囲の誰もが感謝しています。

アフガニスタン緊急募金

郵便振込 00100-9-600

通信欄に「アフガニスタン緊急」とお書きください。同封の払込用紙もお使いいただけます。



Afghanistan アフガニスタン



治安が悪化、約66万人の国内避難民が発生

2001年の「9.11米国同時多発テロ事件」をきっかけにアフガニスタンに駐留していた米軍主体の多国籍軍の撤退に伴い、ガニ前政権が2021年8月15日に崩壊し、かつて同国を支配したイスラム主義勢力タリバンが復権した。日本を含む外国政府・機関の現地職員が抑圧を恐れて国外退避する一方、国際テロ組織IS（イスラム国）によるテロ活動が相次いで治安が極度に悪化し、経済は崩壊状態にある。8月以降、66万人の国内避難民が発生し、食料不足や医療活動の停滞など深刻な人道危機が生じている。



食用油や缶詰などの支援物資を受け取ったアウンさん（仮名）

「政情不安で勤務先の経営が悪化して、同僚たちは解雇され、私の給料も減ってしまいました」。ポリオで足が不自由なアウンさん（仮名・29歳）は、AARが最大都市ヤンゴンで運営する障がい者職業訓練校でコンピュータ技術を学んだ卒業生。経済の混乱で食料品・日用品の価格が高騰する中、新型コロナウイルスの爆発的な感染が続く、アウンさんも体調を崩して一時寝込んでしまっ

政治不安とコロナ禍 二重の困難の中で

ミャンマー

※アフガニスタンからの国外退避を希望するAARカブール事務所の現地職員3人が2021年10月19日、他の機関・団体の関係者とともに来日しました。AARが身元保証して日本に当面滞在します。

2022年も物資配付を継続します。皆さまのご支援をお寄せください。

5000個の対人地雷、約2万2300個の不発弾を取り除き、東京ドーム563個分の土地を安全な農地に変えました。

でしまったといえます。「幸い回復しましたが、症状が悪化していたら、医療機関にも行けず薬も買えずに大変なことになっていたでしょう」。

AARは2021年9月以降、ヤンゴン市内の障がい児家庭30世帯に2カ月分の食費に相当する生活費（約6000円）を届けたほか、障がい者約90人に食料（コメ・食料油・缶詰）と衛生用品を配付しました。併せて電話による心理面のサポートも行っています。現地では少しでも目立つ行動をとるのは危険なため、現地職員に代わって地元の配送サービスや送金システムを利用しながら配付を続けています。

直接会えない方々が少なくありませんが、「AARの支援で日々の食事を賄い、障がいのある娘の教材や栄養剤を買いました」「わずかな貯



緊急支援物資を受け取ったシュエちゃん（仮名・10歳）。脳性まひの障がいがあり、自宅でひとり勉強を続けている

Myanmar ミャンマー



政治・社会の混乱続く 武力弾圧による死者1,300人超

2021年2月1日に軍事クーデターが発生し、アウンサンスーチー国家顧問をはじめ閣僚や議員らが拘束された。全権を掌握したミンアウンフライン国軍最高司令官は非常事態を宣言し、与党・国民民主連盟（NLD）が大勝した総選挙（2020年11月）のやり直しを表明。一般市民や少数民族勢力が激しく抵抗し、反国軍の「国民統一政府」が2021年4月16日に発足した。欧米諸国は国軍を強く非難し、日本も新規の政府開発援助（ODA）を停止。社会・経済活動が著しく停滞する中、武力弾圧による死者は1,300人を超えている。



50万人が死亡、1,330万人が避難

2011年の「アラブの春」に端を発したシリア内戦は、アサド政権と反政府武装勢力の衝突にイスラム過激派や周辺諸国などが介入して泥沼化し、発生から10年以上を経て終結していない。国土は極度に荒廃し、これまでに一般市民を含む約50万人が死亡、周辺国に逃れた難民は660万人、国内避難民は670万人余りに上る。シリア難民の数は世界最大であり、同国の総人口の3割以上が国外に流出。このうち隣国トルコは360万人を受け入れている。

AARはトルコ国内で暮らすシリア難民を支援していますが、シリア国内では治安上の理由で日本人は活動できないため、2014年以降、現地協力団体を通じてシリアに留まる国内避難民への支援を実施しています。

シリアでは空爆などに巻き込まれた負傷者が多く、現地調査によると12歳以上の避難民の40%に何らかの障がいがあり、キャンプで暮らす世帯の76%に少なくとも一人の障がい者がいると言われます。コロナ禍で公共交通機関がストップしてしまい、病院で必要なケアを受けられなくなった障がい者も

シリア 国内避難民の障がい者 リハビリなどサポート

金を取り崩して暮らしています。日本からの温かい支援に感謝します」「世界中が大変な時に私たちのことを忘れずにいてくれて、本当にありがたい」となどの声が多数寄せられています。

深刻です。AARが2020年に支援した地域では、コロナ禍による行動制限や物資の移動規制などの影響で、70万人以上が衛生用品を手でできていませんでした。そこでAARは衛生用品セット（マスク、石けん、洗剤など）を調達し、協力団体が避難民キャンプで配付しました。配付物資は世帯あたり一カ月分に限られますが、「こういうものは手に入りにくいので本当に助かる」と好評でした。

いることから、AARは理学療法士やカウンセラーの戸別訪問によるリハビリテーション、心理カウンセリングを提供しています。

このほか、小麦の栽培支援を通じて困窮した農村部を復興しようと、零細農家250戸に種子や肥料、農具を配付するとともに、栽培技術の研修を実施するプロジェクトを開始しました。人々の生活を少しでも豊かにする新たな成果が期待されます。



(上) 配付した石けん、洗剤、ウエットティッシュなどの衛生用品セット

(左) 現地協力団体を通じた支援物資の配付



災害支援

在宅避難者の支援継続

佐賀・令和3年8月豪雨

佐賀県を中心に甚大な被害をもたらした2021年8月の令和3年8月豪雨の被災地では、その後も浸水した1階が使えないまま自宅2階で避難生活が続ける被災者が少なくありません。AARは発生直後の緊急支援に続いて、こうした在宅避難者に炊き出しの弁当を届けながら困りごと相談に応じたり、地域の障がい福祉施設や障がい者宅に家具を提供したりするきめ細かい支援を行いました。

全64戸のうち47戸が床上浸水した武雄市久津具地区では、10月半ばまでに1843食の弁当を配付しました。炊き出しは地元の人で、NPO法人みつわ（荒川千代美代表）、NPO法人ピースプロジェクト（加藤勉代表）、同地区自治会、グリーンコープさが、民間ボランティアセンター「おもやい」など多くの関係者の協力で実施されました。

また、地域の障がい者の皆さんが働く福祉共同作業所4カ所に事

務機器や農業資材などを提供し、被災した施設の復旧・再開をサポート。ある福祉施設では「被災後は絶望を感じていましたが、AARの支援で希望の光が灯りました」との言葉をいただきました。ひとり暮らしの高齢者宅や障がい者世帯には生活用品や家具をお届けし、「1階にあった家具や家電が流され、今後の生活に不安を感じていました。冬を迎える前にファンヒーターなどをいただいで本当に助かりました」と話す方もおられました。



うな丼の炊き出しを準備する協力団体ピースプロジェクト代表の加藤勉 AAR 理事

緊急支援

給水タンク・手洗い場設置
スーダンのエチオピア難民居住地

完成した給水所に集まる子どもたち

しました。

水はけが悪い居住地では、雨季の冠水で屋外のトイレが使えなくなるなど衛生状態は劣悪です。AARは2021年10月11月、居住地内の幼稚園、小学校に給水タンク6基と手洗い場28基を設けたほか、ゴミ箱83個を設置。併せて衛生用品（マスク、石けんなど）の配付、感染症対策を呼び掛ける衛生啓発活動を行いました。給水タンクは国連機関が敷設する給水パイプと接続され、安全な水を安定して供給できるようになりました。

衛生啓発活動には難民ボランティアも参加し、AAR職員とともに家庭訪問するなど活躍してくれました。学校関係者からは「これまで給水車の水をもらっていたが、給水タンクや手洗い場ができて子どもたちも安心して通学できる」などの声が寄せられています。

エチオピア北部ティグライ州で2020年11月に発生した政府軍と武装勢力の衝突で、難民6万人超が流入した隣国スーダン。AARは2万人近くが暮らすカダーレフ州のトゥナイバ難民居住地で、衛生環境を改善する支援事業を実施

難民支援

ケニア 就学支援キャンペーン 学用品の配付を開始しました

2021年7月に開始した「ケニア難民居住地就学支援キャンペーン」に、のべ265名の皆さまより、258万4875円のご寄付をお寄せいただきました。心より御礼申し上げます。

AARが学校施設の整備やキャリアガイダンスなどを通じた中等教育支援を行っている居住地では、就学を希望しながらも経済的な理由で実現できない若者が多くいます。今回、現地職員と教師が面談し、就学に強い意志のある者から順に支援を決定しました。そして10月下旬、80人に制服やカバン、靴、ノート、電卓など必要な学用品一式を提供しました。

生徒たちからは「これまで誰も私の教

育をサポートしてくる人がいなかったのので夢みたいです」「一生懸命勉強することをお約束します」などの声が聞かれました。

今後も配付及び生徒へのフォローを続けるとともに、書き損じハガキを集めて就学を支援するキャンペーンも行います（詳細は12頁）。引き続きご支援をよろしくお願い致します。



学用品一式を受け取った生徒たち。制服を着用して笑顔を見せてくれました

「学校に戻ることができるとは、夢にも思っていませんでした」

エスポワールさん（24歳）

18歳の時にコンゴ民主共和国からケニアに逃れました。母国で中等教育を修していましたが、ケニアの



中等教育修了試験を受けるには、ケニアでもう一度、中等教育校に入学する必要がありました。入学金も学用品も準備できなかったののであきらめていました。生活費と学用品を賄うために、建設現場などで働いていますが、十分なおカネを貯めることはできませんでした。

このような支援を受けて学校に戻れるようになるとは夢にも思っていませんでした。再び学校で学ぶことができ、今の喜びを表現する言葉が見当たりません。自分の夢がかなったような気持ちです。勉強を続けてスキルを身につけ、将来は起業したいと思っています。そして、この支援がほかの若者にも届いてほしいと願っています。

駐在員だより

ソウルフード「ノン」を召し上がれ@タジキスタン

中央アジアで親しまれる丸くて平たいパン「ノン」は、タジキスタンの食事に欠かせないソウルフード。羊肉の串焼きやスープ、サラダのほか、パスタやピラフなどの主食と一緒に食卓に並びます。その昔、現地職員が研修で訪日した際、「ノンが見つからない!」とひと騒動が起きたとか。私たちが海外で「ご飯」を恋しくなるのと似た感覚でしょうね。



AARの堀尾（中央）とドウシャンベ事務所職員



スーパーや個人商店に山積みされていますが、地域によって特徴があり、マンホール級に大きいものまであります。その上に小さなノンや料理を置くなどお皿代わりに使い、もちろん手でちぎって皆で分け合って食べます。

そんなありふれたノンですが、食べきれなくても決して捨てたりせず、生活困窮者にあげたり、家畜の飼料にリサイクルします。約30年前に内戦があった当地では、食料難を経験した方も多く、ノンをはじめ食べ物を大切にすることが随所で見られます。

AAR ドウシャンベ事務所 堀尾麗華

平和な世界で 格好よく走り続ける

東京国際女子マラソンなど国内外の数多くの大会で活躍し、現在もマラソンランナーとして走り続ける傍ら、スポーツコメンテーターやタレント活動などに取り組む谷川真理さん。地雷廃絶を呼び掛けるチャリティマラソンを15年にわたり開催し、2007年にAAR理事に就任してからは国内災害の被災者支援などの活動にも積極的に関わってきました。そんな谷川さんに「走る理由」、マラソンを通じて社会に発信したい思いを聞きました。

(聞き手・AAR東京事務局中坪央暁)

OL時代の「皇居ラン」が原点

「谷川さんは最初から『プロのランナー』だったわけではなく、OL時代に皇居ランニングを始めたのがマラソンのきっかけなのだそうですね。」

中学・高校では陸上部だったので、練習が嫌いで大学や実業団には進まず、専門学校卒業後に就職して東京・丸の内働いていました。

就職して4年目、市民ランナーが皇居のお堀端を走っているのを見かけ、こんな身近にランニングスポーツがあるんだと気付きました。次の日、早速1周5キロの皇居ランをやってみたんですよ。それから毎日のように走っているうちに、男性ランナーに「いいペースで走ってますね」と声を掛けられ、「都民マラソン（東京マラソンの前身）で日本人トップになるとシドニーマラソンに派遣され

トップアスリートとして活躍

「市民ランナーから実業団に進み、東京国際女子マラソン（91年）で優勝するなど活躍されました。他方、バルセロナ五輪（92年）では補欠代表に留まり、五輪出場はかきませんでしたね。」

レースで好成绩をあげて、複数の実業団からお誘いいただいたのですが、コーチに指示されず走りたかったので、お断りしていました。資生堂だけは条件付きで自由な練習を認めてくれたので、入社しました。皇居ランを始めて4年、28歳で「プロのランナー」になったわけですが、最初からプロだった他の選手には負

けないという意識が強く、常に自己ベスト更新を目指しました。それは自分との戦いでもあるのですが、自分の意思で自由に走れるのはとても幸せでしたね。

翌年のバルセロナ五輪の代表候補に名前が挙がり、「まさか、オリンピック行けちゃうの？」と勝手に思ったところでもう、結局あと一歩のところで選ばれませんでした。次のアトランタ五輪（96年）を目指したものの、けがの影響もあって、五輪代表にはなれませんでした。

もちろん五輪には出なかったですよ。その一方で、もし五輪に出場していたら、そこで燃え尽きて走るのを辞めていただろうと思います。市民ランナーの皆さんが「一緒に走ろうよ」と励ましてくださって、走ることに悔いを残したくないと思い直すことができました。その後は全国各地のレースでいろんな方に出会って、それが私にとって大きな喜びであり励みになっています。

地雷廃絶運動との出会い

「AARが参加する『地雷禁止国際キャンペーン』が97年にノーベル平和賞を受賞し、翌年の長野冬季五輪の開会式では、AARが招待した英国の地雷廃絶活動家で義足ランナーのクリ

マラソンランナー
谷川 真理さん

ス・ムーンさんが最終聖火ランナーになりました。谷川さんは、クリスさんが箱根〜東京間を走ったチャリティマラソンで伴走を務められ、そのご縁で2007年にAAR理事と地雷廃絶キャンペーン大使に就任していただきました。

97年の東京国際女子マラソンは地雷廃絶をテーマに開催され、私は「自分には足があります。けれども、世界には地雷で足を失い、走りたくても走れない子どもたちがいます。私たちは彼らに代わって一生懸命走ります」と選手宣誓しました。その頃から地雷問題に関心を持ち始めたのですが、AARからクリスさんの伴走を依頼され、長野五輪開催中にチャリティマラソンを走り、64カ国の在京大使館を訪ねて地雷廃絶のメッセージを届けました。

箱根町役場前を午後2時にスタート、100キロ余りを夜通し走り続



箱根〜東京チャリティマラソンで義足ランナーのクリス・ムーンさんに伴走する谷川さん（1998年2月）

け、東京のカンボジア大使館にゴールしたのは翌日の早朝4時でした。クリスさんは疲れた様子も見せず各国大使と懇談していました。彼にとっては地雷廃絶こそが最終目標であって、こういうイベントは通過点でしかなかったのです。「言葉を語るよりも行動すること」というクリスさんの言葉は今も心の中に残っています。

障がい者支援の現場を訪ねて

― AARが海外で実施する地雷被害者支援や障がい者の職業訓練などの視察で、スーダン、ミャンマーなどを訪問していただきました。

スーダンでは紛争などで亡くなったり、手足を失ったりする人々がたくさんいることにショックを受けました。義足を付けた女の子が物乞いに来て、おカネをあげるのとは簡単だけれど、それでは何の解決にもならず、戸惑うしかありませんでした。

ミャンマーでAARが運営する障がい者の職業訓練校では、訓練生が技術を身につけようとする姿に胸がいっぱいになりました。途上国では障がい者が社会に参加する機会が乏しいので、AARの支援で仕事に就くきっかけを得られるのは、素晴らしいと感じました。施設が長く存続していることに意義があると思います。



西日本豪雨に見舞われた岡山県倉敷市の避難所で炊き出しをする谷川さん（2018年7月）

国内の被災地で炊き出し

― 国内では東日本大震災（2011年）の被災地でマラソン教室などを開催し、西日本豪雨（18年）などの現場でも炊き出しをしていただいています。

東日本大震災の被害を受けた宮城県でスポーツイベントを開いた時は、「久しぶりに身体を動かしたよ」と被災者の皆さんがひと時を楽しんでいた。いただいた様子にほっとしました。こうした取り組みによって皆さんの気持ちを少しでも明るくできればと願わずにはいられませんでした。

被災地に行くと、私は「炊き出し、おいしかったですか」程度のことしか言えないんです。災害を経験した方ではないと本当の辛さは分からないというか、尋ねたり励ましたりするのは申し訳なくて、相手の方が話

してこれればお聞きするという感じ。その一方で、苦しいことがあっても、立ち上がって生きていかなければならないことも、また事実です。少し運動をしたり、温かい食事をとったりすれば血液循環が良くなり、マイナス思考をプラスに変えることができると思っています。

走ることによって人生まで変わる

― 谷川さん自身が走り続ける理由、市民ランナーの皆さんへのメッセージをお聞かせください。

私自身は回遊魚みたいなもので、止まると酸素を取り込めなくなってしまうので、元気がなくなってしまうんですよ（笑）。仲間と長く走り続けたいというのが今の願いです。

都市型マラソンが普及した影響で、市民ランナーの裾野が広がっています。私は正しいフォームや練習の仕方などをアドバイスしていますが、マラソンは自分なりの目標に向かって達成感と充実感を体感できるスポーツだと思っています。続けるうちに身体と精神、日々の生活、さらに自分の人生まで変わっていくことが実感できるはずです。最初は家の近所のウォーキングでもいいので始めてみてください。きっと新しい風景が見えてくると思います。

シリア難民の子どもたちに パルシステム東京よりご寄付

pal★system
パルシステム東京

生活協同組合パルシステム東京は毎年、紛争などで苦しむ子どもたちを支援する「平和カンパ」を実施し、2016 年以降、組合員の皆さまからのご寄付を AAR がトルコで行うシリア難民支援にお寄せいただいています。11 月 24 日に贈呈式があり、昨年度のご支援で取り組んでいるシリア難民の栄養改善事業について、AAR 東京事務局の小田隆子様がご報告しました。同組合の皆さまからは「より多くの家庭に支援が届き、栄養改善に貢献できれば」というお言葉をいただきました。パルシステム東京は 1998 年より、AAR の地雷対策や西日本豪雨（2018 年）などの緊急支援にもご協力くださっています。

株式会社電巧社よりご寄付 「困難な状況にある人々に」

電気のコシエール
DENKOSHA

ビルや工場の電気設備などを販売する株式会社電巧社（東京都港区）から AAR の難民支援と地雷対策にご寄付いただきました。同社は「世界に目を向け、困難な状況に置かれている人々を支援しよう」と社会貢献制度「ハートフルプロジェクト」を設けており、このたび AAR が寄付先選ばれました。

株式会社ミンラックから マスク 10 万枚をご提供

Minluck

コンサルティング企業のイノバクセル合同会社（茨城県龍ケ崎市）のご紹介で、株式会社ミンラック（石川県志賀町）製造の不織布マスク 10 万枚をご提供いただきました。新型コロナウイルス感染予防のため、岩手・宮城・福島 3 県の障がい団体を通じて各地の福祉事業所にお届けしたほか、2021 年 8 月の豪雨被害を受けた佐賀県武雄市の被災者に配付しています。

令和 3 年 8 月豪雨の被災者支援に ご協力ありがとうございました

佐賀県を中心に発生した豪雨被害（2021 年 8 月）の被災者支援に、たくさんの個人や企業・団体の皆さまからご寄付をお寄せいただきました。心より御礼申し上げます。個人情報保護に配慮し、企業・団体のみご紹介させていただきます。

株式会社オートバックスセブン
HARIO 株式会社
生活協同組合パルシステム東京
リコー社会貢献クラブ・FreeWill

（2021 年 12 月 13 日時点、50 音順）

イオングループ店頭で 「アジア障がい者支援募金」

AEON 1% CLUB

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、アジアの障がいのある方々の教育や就労支援を目的とした「アジア障がい者支援募金」を 1 月 11 日から 2 月 10 日まで実施します。全国のイオングループの店舗や事業所（一部を除く）に募金箱が設置され、お寄せいただいた募金に同財団が一定額を上乗せしたうえで、AAR がラオス、カンボジア、ミャンマーで実施する障がい者支援にご寄付くださる予定です。お近くの店舗にお立ち寄りの際には、ご協力をお願い申し上げます。



デヴィ夫人より難民や被災者支援に

NPO 法人アースエイドソサエティ（代表＝デヴィ・スカルノ夫人）主催のチャリティパーティーが 2021 年 10 月 2 日、東京都内で開かれ、AAR に「世界の難民や被災者の支援に役立ててほしい」とご寄付いただきました。加えて、アフガニスタンの国内避難民への緊急支援にも別途ご寄付をお寄せくださいました。デヴィ夫人は当会の活動を 20 年以上にわたりご支援くださっています。



加藤タキ AAR 副会長（右）からデヴィ夫人に感謝状をお渡ししました

※チャリティパーティーは新型コロナウイルス対策として、手指消毒や検温、飲食時以外のマスク着用に加え、アルコール飲料を提供せずに開催されました。

相続財産（遺産）をお寄せいただきました

A・K さま （大阪府）
佐藤 まゆみ さま （東京都）

（2021 年 9 月 11 日～12 月 13 日、50 音順）

皆さまのご遺志を大切に、難民や子どもたち、障がいのある方々のために役立ててまいります。

好評発売中！世界を変える AAR チャリティチョコレート

AAR の活動は、国連が定めた持続可能な開発目標 (SDGs) の貧困解消や教育、保健などの分野に関わっており、チャリティチョコレート (六花亭製造) のご購入を通じてSDGsの達成にも貢献できます。例えばチョコレート 5 箱分で、アフガニスタンの地雷原 7.72 m²を安全な土地にすることができます。バレンタイン、ホワイトデーはもちろん、ちょっとしたお礼の品に。今シーズンもぜひ、さまざまなシーンでご活用ください。



ミルク、ホワイト、抹茶ホワイト、モカホワイトの4枚入り 600円 (税込)

1/29 (土) チャリティ公演 ソプラノ歌手 田中彩子さんによる モノオペラ「ガラシャ」東京開催

欧州を中心に活躍するウィーン在住のソプラノ歌手、田中彩子さん主演・総合プロデュースによるモノオペラ「ガラシャ 能楽堂版」を開催します。音楽を通して「日本の美」を伝える本作品をぜひご鑑賞ください。

日 時：2022 年 1 月 29 日 (土) 17:00 開演 (16:00 開場)

会 場：国立能楽堂 (東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1)

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

※お席の残りが少なくなっております。お早めにお申し込みください。

2021 冬募金 難民の家族が 安心して過ごせるように

11 月にお送りした冬募金のお願いに対し、皆さまから温かいお気持ちとメッセージを多数お寄せいただいております。心より御礼申し上げます。武力衝突や政情不安などによって、多くの難民・国内避難民が過酷な生活を強いられており、彼らが少しでも安心して過ごせるよう、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。



エチオピアから逃れ、スーダンの難民居住地で暮らす家族

1/20 (木) ~ 26 (水) 「子どもたちの未来を救う」 チャリティ T シャツアート展

美術作家や愛好家が所属する現代アーティストセンター (千葉県印西市) が、「子どもたちの未来を救う^{あした}」をテーマに T シャツアート展を開催します。美術作家や一般の方がデザインした T シャツ 300 枚が展示され、T シャツの売り上げを AAR にご寄付くださいます。

日 時：2022 年 1 月 20 日 (木) ~ 26 日 (水)

9:30 ~ 17:30 (最終日のみ 15:30 まで)

会 場：東京都美術館 (東京都台東区上野公園 8-36)

入場料：無料 ※詳細は現代アーティストセンターの HP をご覧ください。

トルコに故・宮崎職員の名前冠した公園 — 震災から 10 年 —

2011 年 10 月に発生したトルコ東部地震の際、緊急支援活動中に亡くなった AAR 職員、宮崎淳さん (当時 41 歳・大分県出身) の名前を冠した「ミヤザキ森林公園」が被災地のワン県で完成し、2021 年 10 月 23 日に記念式典が開かれました。

この地震では 600 人以上が犠牲になり、AAR は被災者の緊急支援のために宮崎さんらを派遣しましたが、直後に起きた地震で宿泊していたホテルが倒壊し、宮崎さんが亡くなりました。当時 AAR の支援を受けた地元の皆さんが「日本から私たちを助けに来てくれた宮崎さんの功績を語り継ぎたい」と、同県エドレミットに宮崎さんの胸像や鳥居型のゲートなどを配置した公園を整備してくださいました。

震災 10 年の式典には、両国の関係者が多数出席し、トルコ災害緊急事態対策庁のセゼル長官は「宮崎さんは慈悲の心の持ち主だった。私たちのために犠牲を払った人を決して忘れない」、鈴木量博駐トルコ大使は「この公園が宮崎さんの共助の精神、トルコと日本の絆を象徴する場になってほしい」とあいさつ。宮崎さんの母親・恵子さんのメッセージを AAR トルコ事業統括の景平義文が代読し、「10 年もの歳月が経ってもトルコの人々が息子のことを覚えてくれていることに心が温まる思いです」と感謝の気持ちを伝えました。

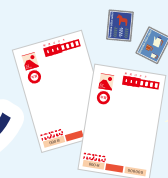


森林公園に設置された宮崎さんの胸像



トルコ東部地震の被災者に支援物資を手渡す宮崎さん

書き損じハガキで 難民の若者の未来を応援キャンペーン



書き損じや余った
年賀状、切手を
お送りください。



夢をかなえるための大切な 一歩を応援してください

ケニアで難民として暮らす若者たちも、私たちと同じようにさまざまな夢をもっています。中等教育を修了することは、若者たちが自らの力で自立し、夢をかなえるための大切な一歩となります。学用品が買えないという理由で勉強を諦める若者が、一人でも多く就学できるよう、これからも活動が続けていきます。皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



AAR 東京事務局
岸田 和香

ハガキ 300 枚が1人分の制服・学用品に！

AARが中等教育支援を行うケニアの難民居住地では、多くの若者が学用品を準備できないために、学校に通えずにいます。AARでは、書き損じハガキや未使用切手を集めて活用し、難民の若者に学用品を贈るキャンペーンを行います。ハガキ300枚あれば、1人分の学用品を購入することができます。あなたのお気持ちで、難民の若者の学びを支え、未来を拓きます。ぜひ職場や学校などでお声掛けし、お送りください。

募集期間：2022 年 2 月 10 日まで

目標枚数：ハガキ・切手 15,000 枚 (50 人分の制服・学用品)

集めているもの：書き損じた年賀状・官製ハガキ、
未使用の年賀状・官製ハガキ、
未使用の切手

下記住所までお送りください。
恐れ入りますが送料のご負担をお願いいたします。

〒141-0021
東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル7F
AAR Japan 物品募集係



「まるごとプロジェクト募金」は、子どもたちの命と未来を支えるために、AARが世界各地で実施するプロジェクトの資金を一括でご寄付いただくものです。2022年度に実施するタジキスタンやパキスタンなどのプロジェクトへの募金を開始しました。今、必要とされている支援を迅速に届けるために、皆さまのお力添えが必要です。ぜひ、ご協力をご検討くださいますようお願い申し上げます。詳細は同封チラシ、またはホームページをご覧ください。

aar まるごとプロジェクト募金 🔍 検索



編集部より

新年おめでとうございます。昨年はコロナ一色でしたが、日本と世界が一日も早く穏やかな日常に戻ることを願うばかりです。今年から AAR News を 12 ページに拡充いたしました。引き続き、ご愛読よろしくお願い申し上げます。

AAR News

2022 Winter NO.477

次号は2022年4月上旬にお届け予定です。

特定非営利活動法人 難民を助ける会

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル7F
Tel.03-5423-4511 Fax.03-5423-4450
www.aarjapan.gr.jp



AAR Japan